

平成22年11月 東京地区百貨店売上高概況

平成22年12月20日

I. 概況

1. 売上高総額	1,429億円余
2. 前年同月比	0.3% (2か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-1.7%(85.9%) : 非店頭14.5%(14.1%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	14社 27店 (平成22年10月対比±0店)
5. 総店舗面積	945,055㎡ (前年同月比:-0.2%)
6. 総従業員数	20,974人 (前年同月比:-1.1%)
7. 3か月移動平均値	4-6月 -4.1%、5-7月 -3.0%、6-8月 -3.5%、 7-9月 -2.9%、8-10月 -1.3%、9-11月 -0.2%

[参考] 平成21年11月の売上高増減率は-11.9% (店舗数調整後)

【11月売上の特徴】

- (1) 気温低下で防寒アイテムが好調に推移したが、具体的には、今年人気の高いファー付のコートのほか、セーター、マフラー、手袋、ブーツ、寝具などが活発に動いた。
- (2) 年末・年始に向けた季節商材のクリスマスケーキとおせちについて、11月の受注状況は二桁増で推移している。また歳暮の動きでは、ネット受注の大幅な伸びが注目される。
- (3) 24か月ぶりにプラスとなった化粧品売上の背景には、各店のコスメフェアが奏功したことのほか、9月頃から展開が始まっていた秋冬新商品の需要が、猛暑の影響で11月にずれ込んだことなどがある。
- (4) 都内でもエコポイントの駆け込み需要により、家電売上が8.2%の伸びを示しており、多くの店で二桁の大幅増を記録した。
- (5) 12月中旬までの都内各店の動向は、前年をクリアしている店も複数あるが、平均的には前年を若干下回る水準で推移している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
 - ①増加した: 11店、②変化なし: 2店、③減少した: 7店、④不明: 2店
- (3) 11月歳時記 (文化の日、勤労感謝の日、七五三、歳暮) の売上 (同上)
 - ①増加した: 7店、②変化なし: 5店、③減少した: 5店、④不明: 5店
- (4) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)
 - ①増加する: 6店、②変化なし: 10店、③減少する: 3店、④不明: 3店

東京地区百貨店 売上高速報 2010年11月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%)
総 額	142,924,940	100.0	0.3
紳士服・洋品	12,039,662	8.4	2.0
婦人服・洋品	29,405,299	20.6	0.2
子供服・洋品	2,188,246	1.5	-6.2
その他衣料品	2,923,295	2.0	-9.3
衣 料 品	46,556,502	32.6	-0.3
身のまわり品	17,007,552	11.9	-3.2
化粧品	7,535,832	5.3	0.7
美術・宝飾・貴金属	6,868,968	4.8	-0.4
その他雑貨	7,384,002	5.2	-5.7
雑 貨	21,788,802	15.2	-1.9
家具	1,947,239	1.4	-12.4
家電	831,820	0.6	8.2
その他家庭用品	5,138,159	3.6	13.7
家 庭 用 品	7,917,218	5.5	5.4
生鮮食品	6,629,407	4.6	0.4
菓子	9,646,813	6.7	0.1
惣菜	7,647,489	5.4	-2.6
その他食料品	15,396,331	10.8	-0.5
食 料 品	39,320,040	27.5	-0.6
食堂 喫茶	3,213,585	2.2	-3.6
サービス	2,724,868	1.9	8.6
そ の 他	4,396,373	3.1	42.4

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率 (%)
商品券	9,991,618 千円	29.3
従業員数	20,974 人	-1.1
店舗面積	945,055 m ²	-0.2
営業日数	30.0 日	前年 30.0 日

II. 商品別の動き

主要5品目では、家庭用品が3か月連続のプラス。マイナスは衣料品、身のまわり品、雑貨、食料品。紳士服・洋品、婦人服・洋品、菓子が2か月連続、生鮮食品が3か月連続、その他家庭用品が5か月連続のプラスとなり、家電が4か月ぶり、化粧品が全国同様24か月ぶりにプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	0.3	—	2か月連続プラス
紳士服・洋品	2.0	0.2	2か月連続プラス
婦人服・洋品	0.2	0.0	2か月連続プラス
子供服・洋品	-6.2	-0.1	2か月ぶりマイナス
その他衣料品	-9.3	-0.2	31か月連続マイナス
衣料品	-0.3	-0.1	2か月ぶりマイナス
身のまわり品	-3.2	-0.4	2か月ぶりマイナス
化粧品	0.7	0.0	24か月ぶりプラス*
美術・宝飾・貴金属	-0.4	0.0	2か月ぶりマイナス*
その他雑貨	-5.7	-0.3	30か月連続マイナス*
雑貨	-1.9	-0.3	31か月連続マイナス
家具	-12.4	-0.2	2か月ぶりマイナス
家電	8.2	0.0	4か月ぶりプラス
その他家庭用品	13.7	0.4	5か月連続プラス
家庭用品	5.4	0.3	3か月連続プラス
生鮮食品	0.4	0.0	3か月連続プラス*
菓子	0.1	0.0	2か月連続プラス*
惣菜	-2.6	-0.1	2か月ぶりマイナス*
その他食料品	-0.5	-0.1	2か月ぶりマイナス*
食料品	-0.6	-0.2	2か月ぶりマイナス
食堂喫茶	-3.6	-0.1	2か月ぶりマイナス
サービス	8.6	0.2	8か月連続プラス
その他	42.4	0.9	8か月連続プラス
商品券	29.3	1.6	16か月連続プラス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで

TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>